

M3T-NC308WAご使用上のお願い

M32C/90, M32C/80, M16C/80, およびM16C/70シリーズ用Cコンパイラパッケージ(アセンブラ・統合化開発環境付き) M3T-NC308WAの使用上の注意事項を連絡します。

- if-else文に関する注意事項

1. 該当製品

M32C/90, M32C/80, M16C/80, およびM16C/70シリーズ用Cコンパイラパッケージ
M3T-NC308WA V.5.00 Release 1 ~ V.5.20 Release 02

2. 内容

if文の制御式の結果が真または偽いずれの場合にもビットフィールドに定数を代入する文を記述していると誤ったコードを生成します。

2.1 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) elseを持つif文がある。
- (2) (1)の制御式の結果が真または偽いずれの場合も同じ変数名を持つ構造体のビットフィールドに定数を代入している。
- (3) (2)のビットフィールドのビット幅は、真または偽の場合に関わらずいずれも1ビットである。
- (4) (2)のビットフィールドのビット位置は真または偽の場合で異なる。
- (5) (2)の定数は真または偽の場合で異なる。

2.2 発生例

char c;

```

struct S
{
    int    b0:1;        /* 発生条件(3) および (4) */
    int    b1:1;        /* 発生条件(3) および (4) */
    int    b2:1;
    int    b3:1;
    int    b4:1;
    int    b5:1;
    int    b6:1;
    int    b7:1;
    int    b8:8;
}

};

void      func( void )
{
    if ( c == 1 ){      /* 発生条件(1) */
        s.b0 = 0; /* 発生条件(2), (3), (4), および(5) */
    }
    else{              /* 発生条件(1) */
        s.b1 = 1; /* 発生条件(2), (3), (4), および(5) */
    }
}

```

3. 回避策

elseのブロック中にダミーのasm()関数を挿入してください。

```

char      c;

struct S
{
    int    b0:1;
    int    b1:1;
    int    b2:1;
    int    b3:1;
    int    b4:1;
    int    b5:1;
    int    b6:1;
    int    b7:1;
    int    b8:8;
}
};

```

```
void    func( void )
{
    if ( c == 1 ){
        s.b0 = 0;
    }
    else{
        s.b1 = 1;
        asm();          /* ダミーのasm()関数を挿入 */
    }
}
-----
```

4. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。